

# 館報 城山

発行所 長野市立城山公民館  
 電話 232-3111  
 編集人 小林洋子  
 発行人 (社福)ながのコーエー  
 印刷所 長野福祉工場

管内の世帯数  
 (30・11・1)  
 第1地区… 2,820  
 第2地区… 5,390  
 合計…8,210世帯

## 地域の防災を考える

今年度、城山公民館では、家庭・地域をつなぐ一つの柱として「地域の防災を考える」ことに取り組んでいます。

今年度の宮下健司先生のご講演の中で、「地震の後、大水害が発生した」と、お話し

今年の長野市は、猛暑日や真夏日が続く、ひと昔前までは考えられない、小・中学校にエアコンを導入する流れが一気に加速しました。地球温暖化や海の水温上昇等、自然環境の変化が、私たちの生活に大きな影響を与える災害発生と繋がっています。

この度の宮下健司先生のご講演の中で、「地震の後、大水害が発生した」と、お話し

防災を考えることは、私たちの日々の生活の在り方を振り返ることであります。そんな一助になればと、防災に関わる講座を実施しました。

### 弘化の善光寺地震 善光寺地震を学んで得たこと

舞田 正幸

小林一茶の没後190年記念講演会で訪れた長沼公民館で、多くの水害記念碑の中



の度の講演により、故郷を襲った大災害であったことを学びました。

国土交通省のHPと長野市配布のハザードマップにより、住んでいる地籍はどんな危険があるのか知ることができま

### 我が地域の防災を考える 「自主災害対策の取り組み」に参加して

徳武 南洋

災害は忘れたころにやってくる

我が家もブロック塀が4m倒壊しましたが、お陰様で人的被害はありませんでした。その時に大きな被害を受けた箱清水地区の皆様は本当に大変だったと思います。特に区の役員の方々がス



ピーデーな災害対応をされた事が住民の安心になり、その後の再建につながったと思います。まずは、対応の早さが住民の復興意識を盛り上げた

狐池区の支援部隊ですが、益々の活躍を期待いたします。

さて我が西長野区では、すでに自主防災会組織はできており、毎年、第一住自協の避難訓練に参加しています。しかし、区として要支援者に対する支援組織が出来上がっていない事が、今後の課題だと思

### 災害時赤ちゃんをどう守る？ 乳幼児の防災

泉谷 亜友美

私自身は今まで大きな災害を経験した事ありません。しかし、最近地震も多く、



いざ被災した時にどのように行動したらよいか不安でした。今回の講座では災害が起きた時に心配な事をグループの方と出し合いました。どんな事が心配なのかを考えておくことで、備えや心構えができる

災害時だけではなく、避難所での生活も、子ども連れだと心配な事がたくさんあります。衛生面や子どもが受けるストレスについても対応方法を教えていただいたので、参考にしたと思います。今

最近台風による停電もあるので、慌てないよう日頃から備えの見直し等を行うようにしました。防災について考え直すよい機会となりました。ありがとうございました。

楽しいいぶらぶら散歩

堀内 順二

10月10日に開催された「田辺さんと、ぶらぶら散歩」に参加しました。

城山から西に見える郷路山から大量に切り出された石は、堰の石積みなど街を造るために使われ、岩石町の町名の由来になったそうです。

伊勢社は参道があるはずの南側は崖。これは善光寺地震による地盤変動のせいではないかとのことでした。伊勢社を南に下ると、湯福川が深く掘り下げられた両側に、高く石垣が積まれています。石の種類から何年にもわたって積まれたことが分かります。淀ヶ橋公民館脇では、鐘鋳堰の上に橋が架けられ、その上を湯福川が流れ、立体交差している大変驚きました。

鐘鋳堰はこの辺りで傾斜が緩やかになり、流れがよどんでいたことから淀ヶ橋になったのではと聞きました。各地名がどのようにな付けたかを考える良い機会でした。



地域に学ぶ！地域と連携講座に参加して！

城山史跡巡り  
第2回ウォーキング講座  
第一地区周辺の史跡巡り

横川 信介

10月24日に、講師の西澤繁幸さんと第一地区の史跡を巡りました。

第一地区



分館を出発し、道祖神の説明を聞きながら、白狐庵横の細い道を歩いていきました。善光寺七池の一つで酒造水として広く利用された夏目清水と西光寺を見ました。そこから獅子沢川を渡り、信州大学教育学部の前身、師範学校時代に信州教育を築いた偉人たちの碑の説明を受けました。また、明治天皇行幸之碑やさまざまな史跡の説明を受け、第一地区が行政教育を担っていたことが分かりました。また、加茂神社には、地質学者の五無齋保科百助の碑もあります。これらの石碑には、教育界も名高く文化財となっています。信濃教育会館で、県歌「信濃の国」を作詞した浅井湧先生など教育の恩人に感謝し、信州教育史の理解を深め、ウォーキング講座はお昼に終わりました。

子ども体験教室  
子ども体験教室での思い出

水奇 司穂梨

10月16日は小学校がお休みで、公民館の体験教室へ行ききました。私の学校から参加した人は私だけで少しさびしかったけれど、鬼無里からバスに乗って、小学生が30人くらい来しました。1班5〜6人に分かれて6班で行動しました。

初めに少年科学センターに行つて空気砲サイエンスショーを見ました。真ん中だけ穴があいているダンボールにけむりを入れて、そのダンボールをたたくとけむりが丸くなって出るのがおもしろかったです。次に気象台に行つて大きな機械を見ましたが話が聞こえなくて何の機械か分かりませんでした。お昼はみんなでカレーをたくさん食べました。最後に自分で持ってきた石を紙にはつて、全員で木の絵を作り



ました。色々な事を体験できて楽しかったです。

集まれ！子どもたち 子ども体験講座に参加して！

「親子でパッチワーク」に参加して

滝澤 理恵

牛乳パックと布を使って、ペン立てや小物入れ、お菓子入れ等に見える箱を作りました。子どもたちと参加させていただきました。

牛乳パックをハサミで切り、布をそれに合う大きさに切り、布のりを塗って、牛乳パックに貼り、出来上がりです。

想像していたよりも簡単にできたので、家でもまた作ってみたいと思いました。

出来上がった作品は、実際に家で、ハサミ立て、リモコン立てとして使っています。子どもはアメ入れとして使っています。とても役に立っています。

身近な物で素敵な箱を作ることができるところが、とても魅力的だし、節約やエコにもつながるので、とても良いことだと感じました。



第41回城山公民館成人学校  
第1作品展のお知らせ

第41回城山公民館成人学校の作品展を左記のように行います。受講生の皆様の熱演や力作の数々を、多くの皆様にご鑑賞いただきました。くお知らせいたします。

1期日

平成31年2月23日(土)

2月24日(日)

2時間

午前9時30分〜午後3時

3会場

城山公民館本館、第二地区分館

4内容(予定)

〔展示〕書道「写経入門」、書道初級、書道、水彩画初級、水彩画上級、洋画、洋画「人物画」、楽しい日本画とスケッチ、木版画、やさしい洋裁、着物をリフォーム、パッチワーク・キルト、四季をたのしむ盆栽、華道初級、城山俳画クラブ

〔ステージ発表〕

太極拳、謡曲初級、楽しいハモニカ教室、ハワイアンフラ入門、ジャズステインの実用英会話

〔茶道点前〕

〔囲碁対局〕

作品展のチラシは2月の回覧でまわす予定です。皆様のご来場をお待ちしております。

# 足もとから知る わが町の成り立ち

## 連載③ 鐘鑄堰をあるく(2) 武井神社から北側へ

戸隠地質化石博物館  
田辺 智隆



武井神社東側、地下を流れる堰

裾花川で取水され、長野裁判所、市立図書館、中央通り「大門交差点」の地下を東へ流れる鐘鑄堰は、田町公民館近くから向きを北北東へ変えます。「東町東交差点」で国道406号を横切り、武井神社の東側を流れます。武井神社には鐘鑄堰にかかっていたという石橋が「力石」として残っています。江戸時代に最強といわれた力士「雷電」が持ち上げたものだという伝説があります。

り、この石にのると元気になるという話もあります。

この先、岩石町になると鐘鑄堰は再び地上を流れるようになります。ここは古くから染物屋があつた場所で、堰で糊や染料を落とすための川流しをしていたそうです。そのため、大正時代に堰を地中化する工事の際にも、この部分は地中化を見送つたのだろうと思われまふ。郷路山から切り出した石を使つた見事な石垣や、染物屋が川流しの際に使つたと思われる石の突起物もみることができまふ。岩石町の名も、堰を守るための立派な石垣にちなんだものかもしれまふ。

そして、鐘鑄堰は「淀ヶ橋」から三輪七丁目へと北に流れていきます。長野大通りを歩くと地形的に北側が高くなつていのがわかります。ここを北に水を流すのですから、難所の一つとなつていまふ。「淀ヶ橋」の地名も、お



岩石町から地表を流れる堰

そらくは堰の水が淀んでしまふ場所だつたことを示すものでしよう。

そこに水を流すための知恵と工夫を現在でもみることができまふ。淀ヶ橋で、湯福川の水がコンクリート製の水路で鐘鑄堰の上を流れ、立体交差となつていまふ。江戸時代は、木でつくられた樋だつたという記録が残つていまふ。湯福川は、大峰山の七曲りを流れ下り、雨が降ると一気に水量が増える川で、たびたび洪水を起こしたことが知られていまふ。この湯福川の土砂が鐘鑄堰に流れ込むと、堰が詰まり、水が流れなくなるので下流の人々が困りまふ。そうしたことを防ぐために、昔の人々の知恵がこうした立体交差を考案したのでしよう。近くの公園はかつての「土揚げ場」で、鐘鑄堰を



淀ヶ橋での湯福川との立体交差

維持するための用地だつたようです。その北側には「樋下稲荷神社」があり、堰やこの樋を守り、下流の稲の豊作を祈願したものと思われまふ。

この先、鐘鑄堰は三輪七丁目へ流れ、箱清水の北側を流れる堀切沢と合流し、中越・吉田・石渡へと流れ、善光寺平の水田を潤しています。この堰がいつ造られたのかは不明ですが、長野で最も古い用水で、下流の稲作を支えていたといつてもよいでしょう。

そのため、日照りの時はこの堰の水の利用について流域全体で争いが起こつたという歴史もありまふ。かつての生活を支えた堰沿いには、歴史をしのぶ景観が残されていまふので、ぜひ歩いてみることをお勧めしまふ。

### 平成31年 11地区合同 成人式の御案内

第一地区・第二地区管内(城山公民館管内)の新成人対象の成人式を11地区合同で執り行いまふ。ご参加ください。

#### 1 該当者

平成10年4月2日から平成11年4月1日まで生まれの人

#### 2 日時

平成31年1月13日(日) 受付 午前9時20分、アトラクション 9時55分〜10時

#### 記念講演

10時5分〜10時35分 式典

#### 3 会場

長野市芸術館

#### 4 主催

第一〜第五、芹田、古牧、三輪、浅川、若槻、小田切地区成人式実行委員会

#### 5 参加方法

本人の住民票が地区管内にある人には、12月初旬に案内状と受付整理券を郵送しまふので、当日ご持参ください。

なお、該当者で住民票が市内にない方は、城山公民館までお問い合わせください。

☎026-232-3111

# 城山公民館 歴史シリーズ 城山の桜とお花見 その1 城山の桜の誕生

春の城山は、桜のお花見で大変賑わいます。城山公民館周辺にも花見小屋がいくつ造られ、花見客が桜の季節を楽しんでいきます。

今日では、「城山」と言えば「桜」と、桜があることが当たり前のように市民の皆様は思っています。桜の寿命は60年程と言われています。いつたい、城山の桜は、いつ頃、どのようにして植樹され、今日に至っているのでしょうか。今回は、城山の桜とお花見について考えてみたいと思います。

①長野市のお花見の初め  
長野市のお花見の初めを、『信濃毎日新聞』等の記事でたどってみると、明治25年(1892) 4月15日付、「安茂里久保寺観音18日が縁日 杏花の花見 掛茶屋もできて」という記事や、明治34年(1901) 4月16日と18日に「安茂里の花 杏の花見」という記事が掲載されていて、明治30年代までは、長野市の花見と言えば、安茂里の杏の花見であったことが分かります。

## ②城山の桜の初め

城山の桜の記事が掲載されたのは、明治30年(1897) 4月16日付、見出し「城山に桜花植栽」記事には「長野市の有志は長野城山なる道路の両側に日本の桜花を植栽する計画を存し、目下咲き始めた樹を植えん為、昨日買入に出向きたり。(略)之を聞きたる岩石町の人々も同地より直線に城山に至る道の両側に桜樹を植えんと之亦協議中なり」とあり、続く5月13日付見出し「長野城山桜樹植栽」記事には「懸社境内並びに道の両側に植栽したるが、此の世話人は前島元助、宮下太七郎、藤井平五郎、鈴木小右衛門、西澤喜太郎の諸氏にして、寄付者は金三円宛、小坂善之助氏外四氏、金二円宛は岡本孝平氏外八名、金一円は宮下銀兵衛氏外十二氏なり」とあり、当時の有志によって、寄付を募り、城山の現在に続く桜の樹を植えました。

当時の桜の主流は「ソメイヨシノ(染井吉野)」でした。「ソメイヨシノ」は、幕末に江戸の染井の植木屋から売り出されたと言われています。現在の城山の桜もほとんどが「ソメイヨシノ」です。「ソメイヨシノ」は、成長は早いですが寿命は短くと言われ、城山の桜の樹は2〜3代目だと言われています。

さらに記事を追うと、明治31年(1898) 4月12日付には、「長野城山の桜」と題して「昨年長野市の有志諸氏が植付けた桜は枯れて根付かざるものありしが、今年再び此場所植えて美観を添うる由」とあり、有志諸氏により、数年後には、懸社境内や城山に続く道の両側に、満開に咲かせる見事な桜の樹を夢見て、今から120年前、城山の桜の木々が植えられ、育てられてきたことが分かります。当時ご尽力された関係諸氏に、心より感謝です。

今回から、「折々日記」と題して、編集委員の皆さんによる随筆を掲載します。

## 折々日記 頼朝しだれ桜

柄澤 申一

我が茂菅地域では、平成24年(2012)から約3年かけて市道の改良整備工事が進められました。完成記念に何かできないか市役所に相談したところ、「しだれ桜」を3本だけ植えることになり、頼朝山トンネル東側入り口の一角に植樹し、育ててきました。2年前の春には桜の花が咲き始め、住民の皆さんを楽しませるようになり、やっと一人前に育つてくれたと思います。

当初、私と友人で始めた苗木のおこもりは、毎月1回周囲の草刈りから始まり、肥料や水やり、特に豪雨、強風、豪雪時には、事前に倒れないよう倒木対策を講じて、何とか成長を見守ってきました。

植えて4年過ぎた頃、住民から桜に名前を付けようとの提案があり、半年かけて多くの候補名の中から「頼朝しだれ桜」と名付けました。今では数名のサポーターも加わり、桜も根を張り、幹も太くなり、これからも末永く楽しんで育ててまいります。

4月から小布施で働いています。いわずと知れた「北斎と栗の町」「歴史と文化の町」。人口1万余、県内市町村で面積が一番小さな町ですが、秋は特に観光客で溢れています。比較的平坦で豊かな土壌と水運から経済活動が盛んであったことが、苗木・六斎市などとして残っています。地域で思うのは、人や文化を受け入れる心と土地を愛する心。私たちの地域でも新たな交流を創り出している小さな町に学ぶことが多いと感じています。(北條)

## 編集後記

## 城山公民館図書室 新刊図書 のご案内

※他にもご希望の本がありましたら、お問い合わせください。

- 「新しいサラダ」
- 「祈りのカルテ」
- 「デートクレンジング」
- 「うまはかける」
- 「わたしの本の空白は」
- 「日の出」
- 「恋の川、春の町」
- 「未来」
- 「ミルク・アンド・ハニー」
- 「ウォーターゲーム」
- 「ディス・イズ・ザ・デイ」

- 香実希人
- 麻子
- 麟太郎
- 史恵
- 光晴
- 知雄
- かなえ
- 由佳
- 修一
- 久子